

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

どんな人にも滝のみりよくを

神山小学校 六年 日高 亜優

今年の夏休みに、親せきが来て大川の滝に行きました。親せきと行くことしかなかった。遠くからでも、滝の落ちていく音がし、ひんやりとしたすずしい空気がとどいてきました。滝が見えてくると、上からたくさんの水がいつきに落ちていきました。とても迫力がありました。岩場を登って近くまで行くと、ただけど、岩場を登るとき、私の親せきは、まだ小さいのでお母さんにだっこされて行きました。とても危ないなと不安になりました。他にも、お年よりの方は、行きにくいのではないかと思えます。せつかく、こんなにすばらしい風景が広がっているのに、何かもったいないと感じました。

私は、このような小さな子供やお年より、体の不自由な方が岩場を登って近くまで行く

(不許複製)

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

( 月 日 曜日 )

ことができない問題を解決するために展望台  
をつくったたら良いと考えました。広くて三百  
六十度見わたせる展望台です。しかも、展望  
台につながる道がゆるい坂道だと、車いすや  
ベビーカーでも行くことができます。形は屋  
久島の形をしていたり、上からたくさんの水  
が流れてくる風景が見れる展望台があれば、  
どんな人も大川の滝が楽しめて、すてきなみ  
りよくが伝わると思います。もしかすると自  
然の中に人工物を作ることにていこうがある

かもしれませんが大川の滝のふんいきをこ  
わさないように、色や素材をくふうして、と  
けこむようにつくれば良いと思います。  
このような、展望台をつくれればきっと、ど  
んな人でも大川の滝を楽しめるのではないで  
しょうか。十年後、二十年後もみりよくある  
大川の滝であってほしいと私は、願います。

(不許複製)

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

